

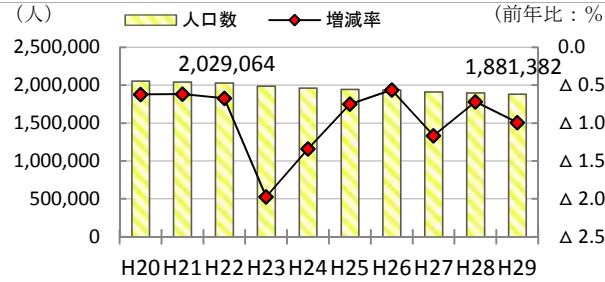


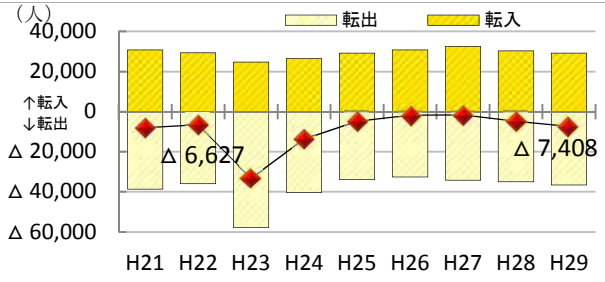


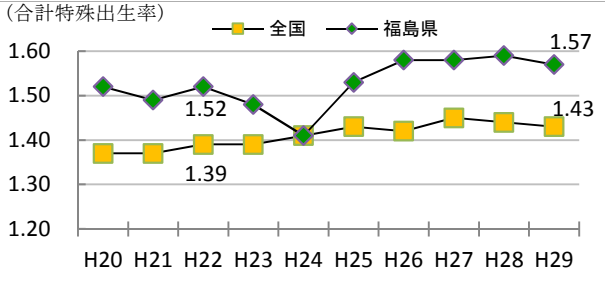


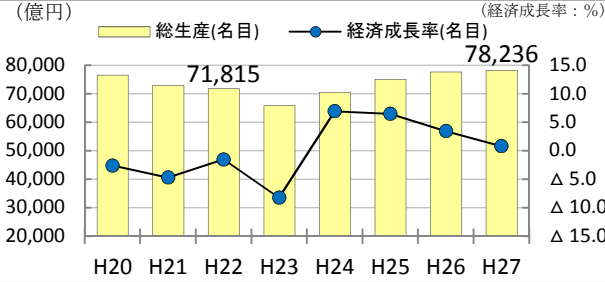


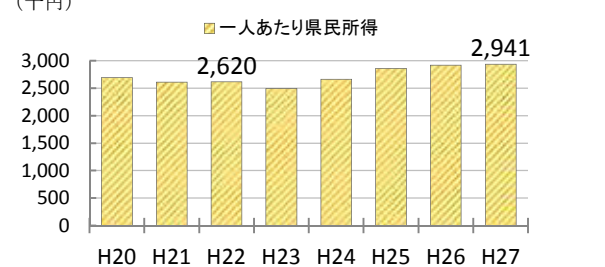


<h2>1 総人口</h2>		<p>基準:各年10月1日現在 出典:H22,27年=総務省「国勢調査結果」、その他の年=県統計課「福島県の推計人口」</p>
<p>◎前年比 -1.0% 20年連続減</p> 	<p>◎震災前比 H29=92.7 (H22=100.0)</p> 	<p>(人) (前年比:%)</p> 
<p>○国勢調査の結果(平成22年と平成27年)を比較すると5.7%減少し、全国で2番目に高い減少率であった。 ○平成30年6月1日時点の推計人口は1,866,609人となった。</p>		
<h2>2 人口の移動状況(社会動態)</h2>		<p>基準:各年1月1日から12月31日までの計 出典:県統計課「福島県の推計人口(福島県現住人口調査)」</p>
<p>◎前年比 転入 -3.6% 転出 +4.5% 2年連続転出超過拡大</p> 	<p>◎震災前比 転入 H29= 99.5 転出 H29= 101.8 (H22=100.0)</p> 	<p>(人)</p> 
<p>○震災時に大規模な人口流出が生じ、平成24年以降は転出超過の縮小が続いていたが、平成28年から2年連続で転出超過が拡大している。 ○平成29年は前年より転入者が3.6%減少、転出者が4.5%増加し、転出超過が前年よりさらに拡大した。</p>		
<h2>3 合計特殊出生率</h2>		<p>基準:年 出典:厚生労働省「人口動態統計月報年計(概数)」</p>
<p>◎前年比 -0.02ポイント 2年振り減</p> 	<p>◎震災前比 +0.05ポイント (H22=1.52)</p> 	<p>(合計特殊出生率)</p> 
<p>○本県の合計特殊出生率は震災以降、平成24年までは下降していたが、平成25年に上昇に転じ、震災前の水準へ回復している。 ○平成29年は前年から0.02ポイント下降し、2年振りの減少となったが、全国を上回って推移している。</p>		
<h2>4 県内総生産(名目)</h2>		<p>基準:年度 出典:県統計課「福島県県民経済計算」 ※計算方法の変更などにより早期推計と確報では大きな差が生じる可能性がある。</p>
<p>◎経済成長率(前年度比) +0.8% 4年連続増</p> 	<p>◎震災前比 H27=108.9 (H22=100.0)</p> 	<p>(億円) (経済成長率:%)</p> 
<p>○平成27年度の県内総生産(名目)は、4年連続で7兆円を超え、震災前の平成22年度を上回る水準で推移している。 ○製造業の減少が大きく、経済成長率(名目)は平成24年度以降、3年連続で減少に転じている。</p>		
<h2>5 一人当たり県民所得</h2>		<p>基準:年度 出典:県統計課「福島県県民経済計算」 ※計算方法の変更などにより早期推計と確報では大きな差が生じる可能性がある。</p>
<p>◎前年度比 +0.6% 4年連続増</p> 	<p>◎震災前比 H27=112.3 (H22=100.0)</p> 	<p>(千円)</p> 
<p>○平成27年度の一人当たり県民所得は294万1千円となり、4年連続で前年度の水準を上回った。 ○平成24年度以降、震災前である平成22年度の262万円を4年連続で上回って推移している。</p>		

※ 県民経済計算については、平成27年度公表分より国民経済計算に準じ、「平成23年基準改定」を行うとともに、過去の推計値を、平成18年度まで遡及して改定しております。

<h3>6 全国新酒鑑評会結果 (順位・金賞受賞数) New!</h3> <p>◎前年度順位比 H28 1位 → H29 1位 6年連続日本一(史上初)</p> <p>◎震災前比 H29=1位 (H21=1位)</p> <p>○平成29酒造年度の本県産日本酒の金賞受賞数は19点であった。 ○金賞受賞数は史上初となる6年連続日本一を達成し、本県の酒づくりは高い評価を受けている。</p>	<p>基準: 酒造年度(7月1日～翌年6月30日) 出典: 独立行政法人酒類総合研究所、日本酒造組合中央会「全国新酒鑑評会審査結果」</p> <p>(点) (順位)</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>																		
<h3>7 地価(住宅地)</h3> <p>◎前年比(福島市) +3.2% 5年連続増</p> <p>◎震災前比(福島市) H30=94.4 (H22=100.0)</p> <p>○平成26年以降、5年連続で前年を上回っており、ゆるやかな上昇傾向にある。 ○福島市については、前年から1,400円の上昇。平成25年から累計6,400円上昇している。</p>	<p>基準: 各年1月1日現在 出典: 国土交通省「地価公示」</p> <p>(円)</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30</p>																		
<h3>8 新規高卒者の就職内定率 New!</h3> <p>◎前年比 -0.4ポイント 7年振り減</p> <p>◎震災前比 +3.8ポイント (H21=95.5)</p> <p>○3月末時点における就職内定率は震災前を上回る水準となっており、平成29年度卒業生については99.3%となった。 ○県内留保率も震災前を上回っており、5年連続で80.0%を上回って推移している。</p>	<p>基準: 各年度卒業者の3月末現在の就職内定状況 出典: 県雇用労政課「新規高等学校等卒業者の就職内定状況」</p> <p>(%)</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 (年度卒)</p>																		
<h3>9 延べ宿泊者数</h3> <p>◎前年比 -0.3% 5年連続減</p> <p>◎震災前比 H29=103.9 (H22=100.0)</p> <p>○平成26年以降は増加率が鈍化しているものの、延べ宿泊者数は800万人を超えている。 ○平成25年から5年連続で、震災前を上回る水準で推移している。</p>	<p>基準: 年 出典: 観光庁「宿泊旅行統計調査」(速報値) (従業員数10人以上の施設)</p> <p>(人泊) (前年比: %)</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>																		
<h3>10 農産物輸出量 New!</h3> <p>◎前年比 +214.6% 5年連続増</p> <p>◎震災前比 H29=137.6 (H22=100.0)</p> <p>○平成29年度の本県産農産物の輸出量は5年連続で増加し、震災前の水準を超える過去最高の210tに達した。 ○輸出拡大に向けた取組により、米や桃等の輸出量が増加し、米においては前年比5倍以上の約122tの輸出を記録した。</p>	<p>基準: 年度 出典: 福島県農産品振興戦略課「福島県農産物の輸出量の推移」</p> <p>(kg)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計</td> <td>152,924</td> <td>210,362</td> </tr> <tr> <td>桃</td> <td>28,790</td> <td>47,925</td> </tr> <tr> <td>米</td> <td>108,026</td> <td>122,460</td> </tr> <tr> <td>その他の青果物</td> <td>14,519</td> <td>37,818</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,589</td> <td>2,159</td> </tr> </tbody> </table> <p>H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>		H22	H29	合計	152,924	210,362	桃	28,790	47,925	米	108,026	122,460	その他の青果物	14,519	37,818	その他	1,589	2,159
	H22	H29																	
合計	152,924	210,362																	
桃	28,790	47,925																	
米	108,026	122,460																	
その他の青果物	14,519	37,818																	
その他	1,589	2,159																	

各指標の詳細なデータについては、出典元の各統計をご覧ください。